



1. IFERC 原型炉 R&D ワークショップの開催

10月4～6日の3日間、スペインのバルセロナにある欧州実施機関 Fusion for Energy (F4E) で第7回 BA 原型炉 R&D ワークショップが開催された。日本側の出席者は、原子力機構から9名、EU 側の出席者は、計11名で、主として2010年次の進捗と2011年次の計画について議論を行った。

このワークショップの中では、国際核融合エネルギー研究センターの原型炉 R&D 棟において新たに欧州側が行う SiC/SiC 複合材料と液体金属 LiPb (液体増殖材料) との共存性試験が議論され、今後の実験条件や施設との取り合い条件について協議された。

2. 第7回 IFMIF/EVEDA 事業委員会の開催

10月6～7日に国際核融合材料照射施設工学実証工学設計活動 (IFMIF/EVEDA) 事業の第7回事業委員会が六ヶ所の国際核融合エネルギー研究センターで開催された (図1参照)。日本からは、秋場真人議長を含め委員3名と専門家4名、欧州側はオブライアン欧州委員会担当官を含め委員3名と専門家5名、これとギャラン事業長および事業チーム員13名が参加した。

今回の事業委員会では、大洗で建設中のリチウム試験ループがほぼ完成したことなど IFMIF/EVEDA 事業の進捗が報告されるとともに、事業チームから提案された、原

型加速器の工学実証試験や IFMIF 工学設計活動のスケープ、2011年の作業計画について審議した。その結果、いずれも12月に開催予定の運営委員会に承認を求めるために提出することを勧告した。次回の事業委員会は、2011年3月24日～25日に六ヶ所で開催される予定である。

3. 第7回 IFERC 事業委員会の開催

10月18～19日に国際核融合エネルギー研究センター (IFERC) 事業の事業委員会が六ヶ所の国際核融合エネルギー研究センターで開催された (図2参照)。欧州からは、カール・ラックナー議長を含め委員3名と専門家8名、日本側は福山淳京都大学教授を含め委員3名と専門家5名、これと中島事業長および事業チーム員2名並びに事務局3名が参加した。

今回の事業委員会では、IFERC 事業チームが作成した事業計画改訂案や2011年の作業計画を審議し、それらを運営委員会に承認を求めるため提出するよう勧告した。さらに前回の事業委員会および運営委員会の提言に基づき、高性能計算機の運用方針を検討する特別作業グループの実施要領案や日欧共同による原型炉概念設計作業の実施要領案についても議論を行った。次回の事業委員会は、2011年3月16～17日に六ヶ所で開催される予定である。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



図1 IFMIF/EVEDA 事業委員会。
(平成22年11月18日、国際核融合エネルギー研究センターにて)



図2 第7回 IFERC 事業委員会。
(平成22年11月6日、国際核融合エネルギー研究センターにて)